

くすりのしおり

内服剤

2025 年 09 月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名: エナラプリルマレイン酸塩錠 10mg 「オーハラ」

主成分: エナラプリルマレイン酸塩 (Enalapril maleate)

剤形: うすい桃色の錠剤、直径 8.0mm、厚さ 3.0mm

シート記載など: エナラプリルマレイン酸塩 10mg 「オーハラ」、エナラプリルマレイン酸塩、10mg、Enalapril Maleate 10mg 「OHARA」



この薬の作用と効果について

アンジオテンシン変換酵素を阻害してアンジオテンシン II の生成を抑えることで、血管を拡張し、血圧を下げ、心臓の負担を軽減します。

通常、本態性高血圧症、腎性高血圧症、腎血管性高血圧症、悪性高血圧、慢性心不全（軽症～中等症）の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。血管性浮腫の既往、アフェレーシスを施行中、血液透析施行中、腎動脈狭窄、高カリウム血症、腎障害、脳血管障害、減塩療法中
- ・妊娠または授乳中、妊娠している可能性がある。
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（（ ）：医療担当者記入）
- ・高血圧症：通常、成人は 1 回主成分として 5～10mg を 1 日 1 回服用します。年齢・症状により適宜増減されますが、腎性・腎血管性高血圧症または悪性高血圧には 1 回 2.5mg から服用を開始することもあります。通常、生後 1 カ月以上の小児は、主成分として 0.08mg/kg を 1 日 1 回服用します。年齢・症状により適宜増減されますが、1 日 10mg を超えることはありません。
慢性心不全（軽症～中等症）：ジギタリス製剤、利尿剤などと併用します。通常、成人は 1 回主成分として 5～10mg を 1 日 1 回服用します。年齢・症状により適宜増減されますが、腎障害を伴う、または利尿剤服用中には 1 回 2.5mg から服用を開始することもあります。
本剤は 1 錠中に主成分として 10mg を含有します。いずれの場合も、必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は、忘れた分は飲まないで 1 回分を飛ばしてください。絶対に 2 回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・降圧作用に基づくめまい、ふらつきがあらわれることがありますので、高いところでの作業や自動車の運転など危険を伴う機械を操作するときには注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することができません。この薬を使用中に妊娠が判明した場合や妊娠が疑われる場合は、速やかに医師に相談してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、めまい、咳などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・呼吸困難を伴う顔・舌・のどの腫脹、腹痛・吐き気・嘔吐・下痢などを伴う腸管の血管性浮腫〔血管性浮腫〕
- ・顔面蒼白、冷汗、めまい〔ショック〕
- ・胸の痛み、圧迫・狭窄感、冷汗〔心筋梗塞、狭心症〕
- ・全身のむくみ、尿量減少、頭痛〔急性腎不全〕
- ・38℃以上の高熱、目の充血、口唇・眼粘膜のただれ〔剥脱性皮膚炎、中毒性表皮壊死症、皮膚粘膜眼症候群、天疱瘡〕

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。

・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

SI②